

2016年7月号

7月15日(金)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 238



## 多雨の6月、そして初夏・・・

長年愛され続けた旧ビジターセンターは、惜しまれつつも建替えのため6月に取り壊しとなりました。来春の新規オープンが待ち遠しいです。

さて、気温の高かった5月と打って変わり、6月は例年の倍の降雨量を観測するなど、肌寒い日が続いた温根内。開花が遅れていた初夏の植物でしたが、7月の晴れ間に勢いよく花を咲かせ始めました。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物・昆虫～



【ホザキシモツケ】  
バラ科 穂咲下野  
木道を入ってすぐのハンノキ林内や湿原の丘陵地に近くで見られる木本です。小さな花が穂状に集まって咲いています。



【ドクゼリ】  
セリ科 毒芹  
ヨシ・スゲ湿原やハンノキ林で1mくらいの高さで白い花を咲かせます。全草に毒がありますので注意が必要です。



【オオダイコンソウ】  
バラ科 大大根草  
鶴居軌道で見られ、ダイコンソウより全体がやや大きいのが特徴です。根出葉が大根の葉に似ているのが名前の由来となっています。



【トキソウ】  
ラン科 朱鸞草  
ミズゴケ湿原で見られる、トキの色に似ていることから名付けられた花で、環境省の準絶滅危惧種に指定されています。



【サギスゲ(実)】  
カヤツリグサ科 鷺菅  
ヨシ・スゲ湿原で白い綿をつけています。ワタスゲの実とも似ていますが、写真のように何本か枝に分かれるのが特徴です。



【キタイトトンボ】  
イトトンボ科 北糸蜻蛉  
ハンノキ林の日陰を静かに飛んでいるイトトンボの仲間です。都会から来た人の中には、イトトンボを初めて見た!という方も結構います。

○表紙の写真 上:ヨシ・スゲ湿原と木道 中右:カキツバタ 中左:センダイムシクイ 下:コタヌキモ

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

木道周辺では鳥たちが子育ての真っ最中です。既に巣立ちして親鳥を追いかけているヒナや、エサをくわえて巣立ち前のヒナにエサを運ぶ親鳥の姿が見られます。双眼鏡を無料で貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【コヨシキリ】 夏鳥  
ヨシキリ科 小葦切  
ヨシやハンノキの枝に掴まり様々な鳴き声を組み合わせて鳴いています。小さい体で嘴を大きく開き、懸命に鳴く姿が愛らしいです。



【シマセンニュウ】 夏鳥  
センニュウ科 島仙入  
コヨシキリとよく似ていますが、眉斑の上の黒い線が本種は明瞭ではありません。ヨシの中で囀ることが多くなかなか姿を見せません。



【クイナ】 夏鳥  
クイナ科 水鶏  
普段は草叢の中で「クィ、クィ・・・」などと鳴いて、滅多に姿を見せてくれないクイナですが、木道を一瞬通り過ぎてくれました。



【ノビタキ(ヒナ)】 夏鳥  
ヒタキ科 野鶺  
巣立ちを迎えたヒナが今年も可愛い姿を見せてくれています。見つけてもそっと見守ってください。

○温根内探勝木道周辺で観察された花(6月15日～7月14日) ※和名は五十音順

アカネムグラ■イ■イケマ■ウド■ウマノミツバ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾカラマツ■エゾカンゾウ■エゾノカワチシャ■エゾノクサイチゴ■エゾノシモツケソウ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■エゾムグラ■オオアマドコロ■オオウバユリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオツリバナ(木本)■オオバタネツケバナ■オオハナウド■オオヤマフスマ■カキツバタ■カラコギカエデ(木本)■カラフトイソツツジ(木本)■カラフトホソバハコベ■キツネノボタン■ギョウジャニンニク■キンミズヒキ■クサイ■クサフジ■クロバナロウゲ■コクワ(サルナシ・木本)■コケイラン■コタヌキモ■コツマトリソウ■コメツブツメクサ■コンロンソウ■サグスグ(綿毛)■シオガマギク■シコタンキンボウゲ■シナノキ(木本)■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■チシマアザミ■ツリバナ(木本)■ツルアジサイ(木本)■ツルウメモドキ(木本)■ツルコケモモ(木本)■トキソウ■ドクゼリ■ナガバツメクサ■ナズナ■バイケイソウ■ハクサンスゲ■ハナタネツケバナ■ヒメカイウ■ヒメジョオン■ヒメスイバ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ(木本)■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノヨツバムグラ■マムシグサ■マユミ(木本)■ミツガシワ■ミツバウツギ(木本)■ミツバツチグリ■ミミナグサ■ミヤママタタビ(木本)■ムジナスゲ■ムラサキツメクサ■ヤナギトラノオ■ヤマグワ(木本)■ヤマブキシヨウマ■ヤマブドウ(木本)■ワタスゲ(綿毛)

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(6月15日～7月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト■オオヨシゴイ■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■ハリオアマツバメ■オオジシギ■トビ■ノスリ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■マキノセンニュウ■シマセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ムクドリ■コムクドリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ニューナイスズメ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン



今年もヘイケボタルが飛び始めました♪ 8月上旬まで見られます。

観察する際には木道から落ちないように十分お気を付けください。フラッシュ撮影や懐中電灯はホタルを驚かせるだけでなく、周りの人の目がくらみますのでご遠慮ください。暗さに目が慣れてくれば十分歩けますし、ホタルも見つけやすくなります。また、ホタルも虫ですので、虫よけはほどほどにお願いします。

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆自然ふれあい行事「初夏の湿原花ハイク」が開催されました☆☆☆



花の季節を迎えた7月3日、植物の専門家で湿原全般の自然環境に精通しておられる大西英一先生を講師として、温根内周辺の植物などを観察する花ハイクを実施しました。

大西講師からは、ハンノキ林の生長方法やその寿命、ミズゴケが2種類の細胞を使い分けて生育していること、タヌキモの捕虫囊の仕組みなど、湿原地域の植物たちの工夫を凝らした生き方・たくましさを教えていただきました。時折ユーモアも交えながら湿原内の生態系について教えていただき、参加者の方々も興味深く耳を傾けていました。(参加者：17名)

☆☆☆☆☆温根内イベントカレンダー（8月）☆☆☆☆☆

8月7日、14日の観察会は申し込みが必要です⇒☎0154-65-2323

※無料ガイドウォーク（無料GW）は申し込み不要です。直接お越しください。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 臨時開館	3	4	5	6 無料GW
7 夏の湿原花ハイク	8	9 臨時開館	10	11	12	13 無料GW
14 ザリガニウォッチング	15	16 臨時開館	17	18	19	20 無料GW
21 無料GW	22	23 休館日	24	25	26	27 無料GW
28 無料GW	29	30 休館日	31			

♪夏の湿原花ハイク：10：00～12：00（定員15名）♪ザリガニウォッチング：10：00～12：00（定員15名）

♪無料GW：10時～、14時～（1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り）

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪鳥の刺繍ワッペンを作ろう

〔日時〕8月27日（土）10：00～13：00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕500円（材料費） 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～温根内ビジターセンターは仮設での運営となっております～

ビジターセンターは現在、建替え工事のため、トイレも含め仮設で運営しております。新しいビジターセンターは来年の春、オープン予定です。それまでご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

☆夏季休館日の開館について☆

今年も夏休み中（7月19日～8月16日）の休館日を臨時開館いたします。当日は環境省のアクティブランジャーとパークボランティアの方々に対応しております。

長年湿原に関わってきた人たちのお話も聞けますので、お気軽にお立ち寄りください。

月刊 温根内通信 No.238

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kk946/

fFacebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：10：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料